



2025年12月期 決算説明会

株式会社ツカダ・グローバルホールディング

代表取締役社長 塚田正之

2026年2月16日



TABLE OF CONTENTS

■ 連結決算概要	…	p.3
■ セグメントハイライト	…	p.20
■ 参考資料	…	p.29

本資料で記述されている内容のうち、将来予測部分は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、潜在的なリスク・不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は様々な要因の変化により、記述されている将来見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

01 連結決算概要

連結決算ハイライト

前年同期比增收。営業利益は28.8%増加。為替差益剥落により経常利益は減少。
投資有価証券の一部について減損処理に伴う評価損の計上により純利益は減少。

売上高

73,095

百万円

前年同期比

+15.0 %

営業利益

9,540

百万円

営業利益率 13.1%

前年同期比

+28.8 %

経常利益

7,494

百万円

経常利益率 10.3%

前年同期比

△3.0 %親会社株主に帰属する
当期純利益**4,768**

百万円

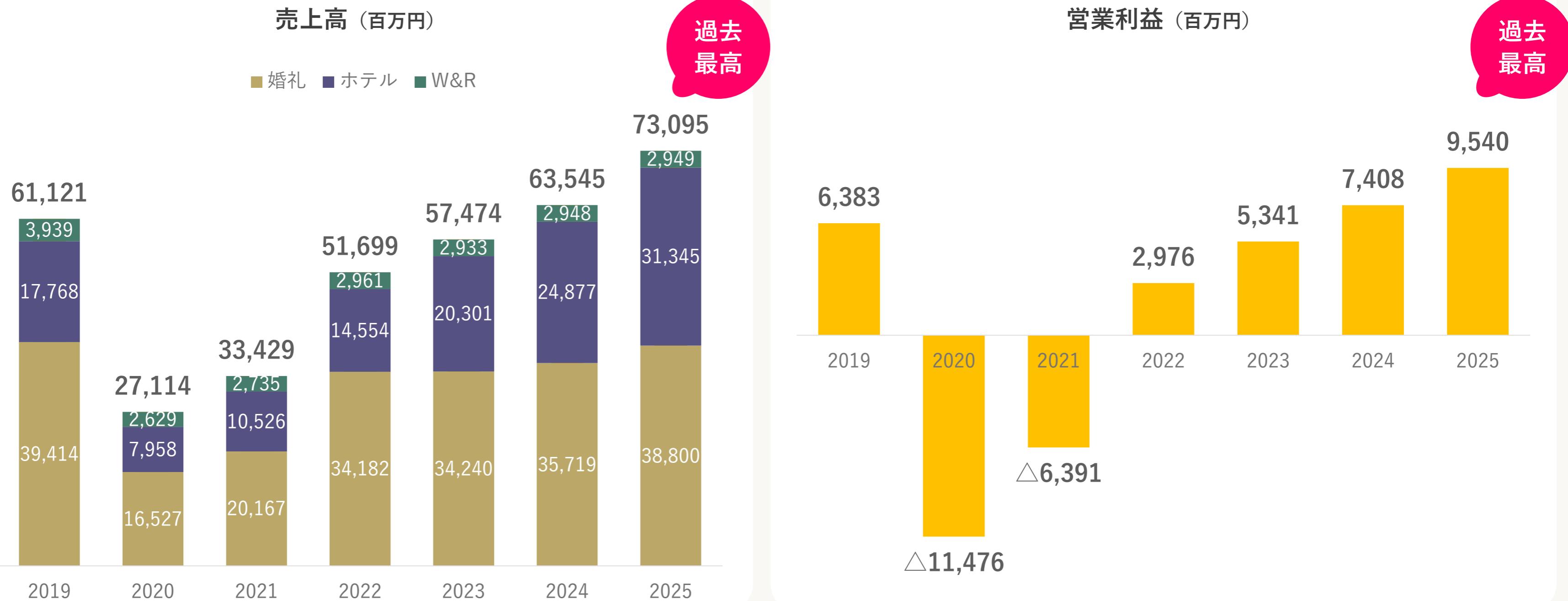
純利益率 6.5%

前年同期比

△7.4 %

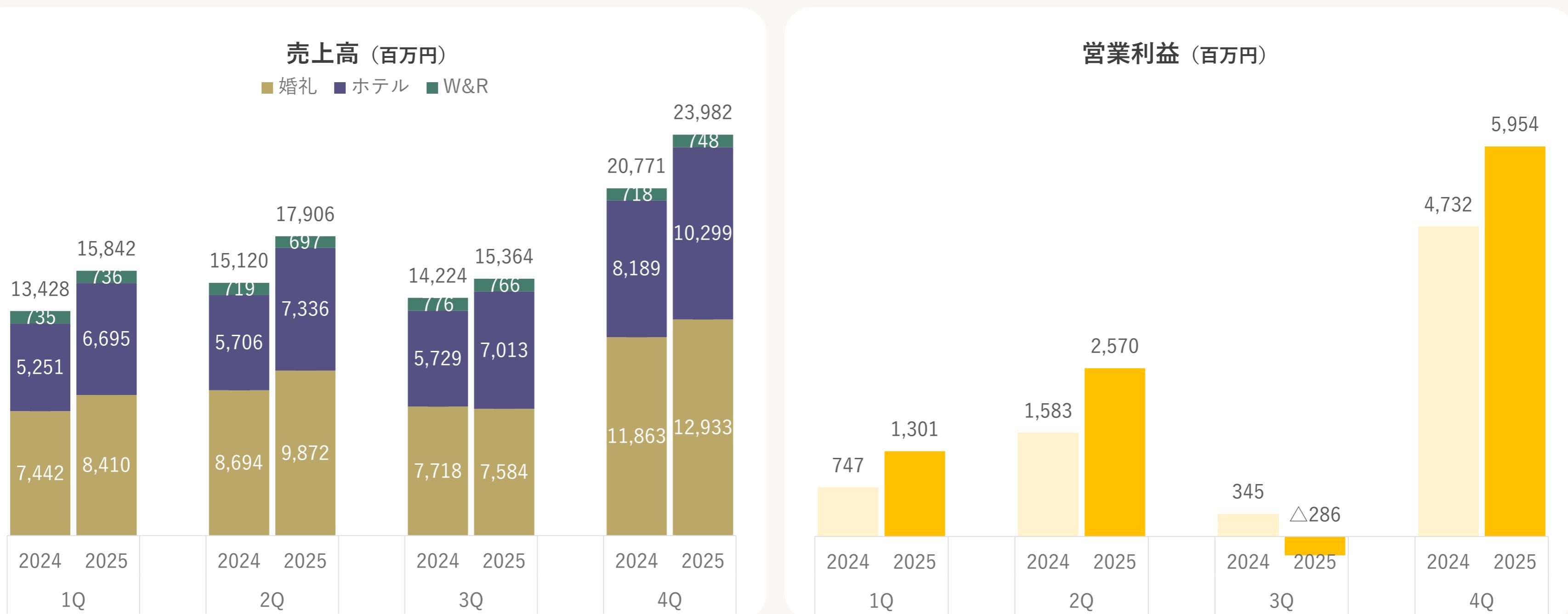
連結売上高・営業利益推移

売上高・営業利益ともに2021年から5期連続で増加し過去最高を達成。



四半期推移

W Hotel Dallas Victoryの取得もあり、全四半期で売上高は前年同期を上回った。
 酷暑や風評被害等による婚礼・宿泊の需要落ち込みにより、第3四半期は赤字となった。



連結損益計算書

2025年12月期の連結業績は、売上高が前年同期比15.0%増の73,095百万円、営業利益が同28.8%増の9,540百万円と堅調な增收増益となった。

	2024 4Q累計	2025 4Q累計	増減率
売上高	63,545	73,095	+ 15.0%
婚礼	35,719	38,800	+ 8.6%
ホテル	24,877	31,345	+ 26.0%
ウェルネス&リラクゼーション	2,948	2,949	+ 0.0%
売上総利益	25,559	30,531	+ 19.5%
販売費及び一般管理費	18,151	20,991	+ 15.6%
営業利益	7,408	9,540	+ 28.8%
経常利益	7,726	7,494	△ 3.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,147	4,768	△ 7.4%

■ 経常利益 △3.0%

前期から為替差益（1,043百万円）が剥落。支払利息が1,526百万円に増加（前期は829百万円）。

■ 純利益 △7.4%

W Hotel Dallas Victoryの取得に伴い、段階取得に係る差益1,259百万円及び負ののれん発生益1,033百万円を計上。投資有価証券評価損2,571百万円を計上。

連結貸借対照表

W Hotel Dallas Victoryの取得により、総資産が増加。

	2024/4Q	2025/4Q
流動資産	26,315	34,150
固定資産	85,262	105,766
繰延資産	133	221
流動負債	20,877	24,695
固定負債	56,803	75,649
純資産	34,030	39,792

■ 資産 140,138百万円 (+25.4%)

- 固定資産 +24.0%
- ホテルの土地・建物等の増加

■ 負債 100,345百万円 (+29.2%)

- ホテルの取得により
- 1年内含む社債・長期借入金が増加
(59,406百万円 → 77,722百万円)

■ 純資産 39,792百万円 (+16.9%)

- 利益剰余金 +4,198百万円
- 自己資本比率26.6%
(2024年期末 : 28.9%)

連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは安定的に創出される一方、成長投資の継続により投資活動によるキャッシュ・フローはマイナスとなった。

	2024 4Q累計	2025 4Q累計	増減率
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,394	10,340	△ 0.5%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,132	△ 7,258	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,730	3,597	+ 31.7%
現金及び現金同等物に係る換算差額	185	129	△ 30.4%
現金及び現金同等物の増減額	2,177	6,808	+ 212.7%
現金及び現金同等物の期首残高	18,916	21,094	+ 11.5%
現金及び現金同等物の当期末残高	21,094	27,903	+ 32.3%

■ 営業キャッシュ・フロー

- 前年比△0.5%

■ 投資キャッシュ・フロー

- 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出△3,407百万円

■ 財務キャッシュ・フロー

- 長期借入れによる収入 26,623百万円
- 長期借入金の返済による支出△25,480百万円

通期業績予想の修正

今期業績予想は、W Hotel Dallas Victoryが通期稼働することにより、
売上高77,797百万円、営業利益10,095百万円、純利益6,014百万円。

	2025/12期	2026/12期	増減率
	実績	予想	
売上高	73,095	77,797	+ 6.4%
婚礼	38,800	40,019	+ 3.1%
ホテル	31,345	34,694	+ 10.7%
W&R	2,949	3,083	+ 4.5%
売上総利益	30,531	34,006	+ 11.4%
営業利益	9,540	10,095	+ 5.8%
経常利益	7,494	8,814	+ 17.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,768	6,014	+ 26.1%



重点戦略①

ホテル事業への積極投資

ホテル事業への積極投資

2024年以降、当社は、国内外でホテル資産を取得・運営し、改装や運営改善を通じてポートフォリオの拡充と価値向上を進めてきた。

ANA ホリディ・イン 東京ベイ
(東京都品川区)



Kimpton Palladian Hotel
(米国ワシントン州)



W Hotel Dallas Victory
(米国テキサス州)



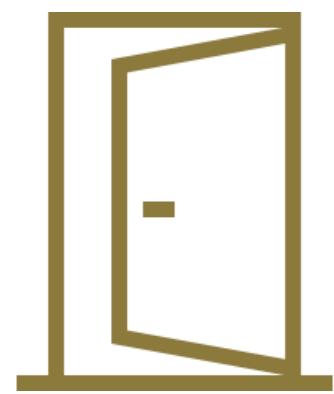
Kaimana Beach Hotel
(米国ハワイ州)



ホテル事業への積極投資

今後も、当社の投資方針に沿って国内外で価値あるホテルの取得・開発を検討し、中長期的な成長と企業価値向上を目指す。

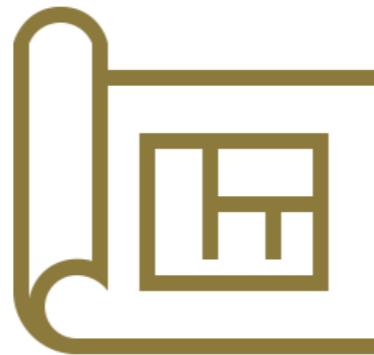
開発検討中の客室数



Openings
0
Rooms

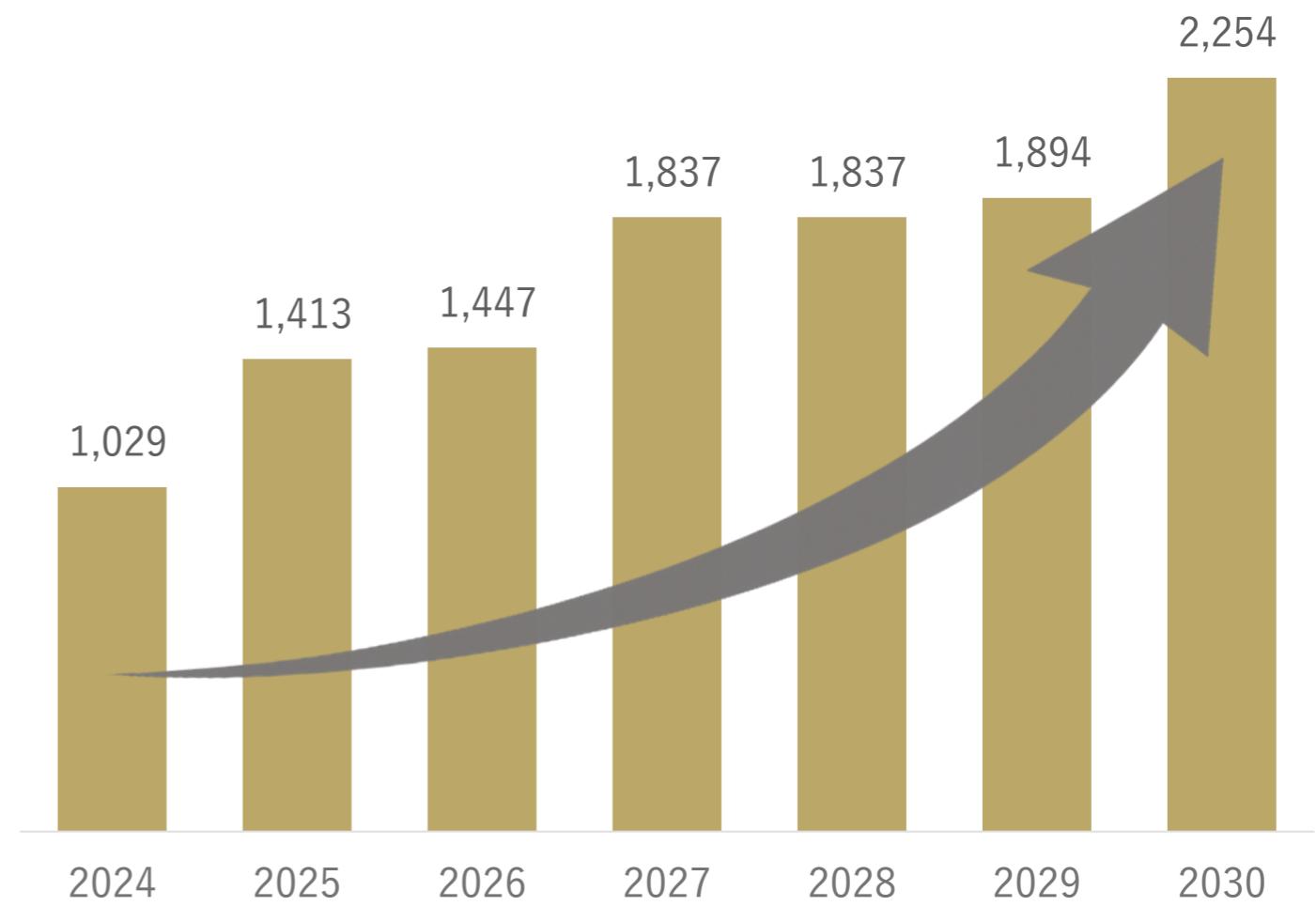


Approvals
60
Rooms



Pipeline
781
Rooms

室数成長イメージ





重点戦略②

婚礼のさらなる成長へ

重点戦略 | 婚礼施設リニューアル

婚礼市場における競争力を維持・強化するため、顧客ニーズの変化を捉えた
計画的な改装を継続。多様化する婚礼ニーズに対応できる施設価値の向上を図る。



仙台 アートグレイス フォレスト迎賓館「ブローニュ フォレスト」



新浦安 アートグレイス ウエディングコースト「マリナデルレイ」

挙式スタイルの変化を踏まえ、新浦安 アートグレイス ウエディングコーストの挙式会場をリニューアル。幅広い挙式ニーズに対応し、受注機会の拡大を図る。



重点戦略 | 前撮り・フォトウェディング

前撮り・フォトウェディングは、婚礼事業におけるさらなる成長領域として展開。出店・体制整備を進めたことにより、件数は前期比37%増加し8,508件となった。

今期の着地

- 今期件数：8,508件 前期比+37%
(計画：10,860件)
- 上期3,984件、下期も前期比増加したが
計画には及ばず

主な要因

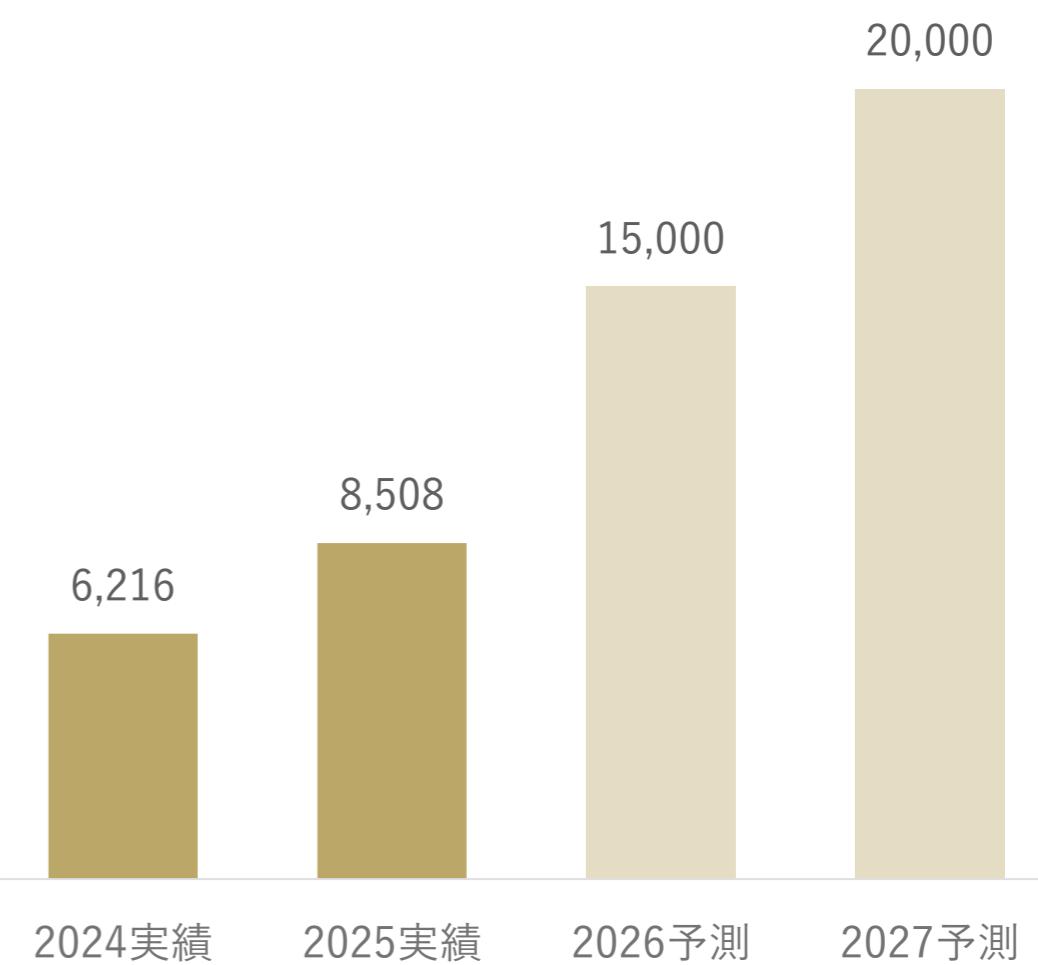
- 表参道店開業の遅延
- 中京・関西エリアの想定未達
- 関東集中による人員体制整備の遅れ

来期の成長シナリオ

- 出店拡大
2025年：11店舗出店し16店舗体制へ
2026年：8店舗出店予定
- 人員配置・オペレーションの標準化



件数予測推移（前撮り含む）



イタリア・ミラノ発のハイエンドドレスブランド「ANTONIO RIVA MILANO」の日本初の旗艦店「ANTONIO RIVA MILANO Atelier Tokyo」と提携。



**提携を通じた魅力ある商品展開と外部販売の拡大
外部顧客の獲得を推進し新たな収益成長の柱を構築**

- 外部顧客向け衣装販売数は、2024年の513件から今期は757件へ増加し、外販モデルが着実に拡大
- 外販強化の拠点として、イタリア・ミラノ発のハイエンドドレスブランド「ANTONIO RIVA MILANO」の日本初の旗艦店「ANTONIO RIVA MILANO Atelier Tokyo」と新たに提携
- 本提携を通じて外部の式場・ホテルとの業務提携を拡大できたことで、衣装ビジネスの外部販売のさらなる拡大が可能となった

当社は成長投資を優先する方針のもと、有利子負債を活用して事業拡大を進めている。今後は計画的な返済を行いながら、成長機会への投資と財務健全性の両立を図る。

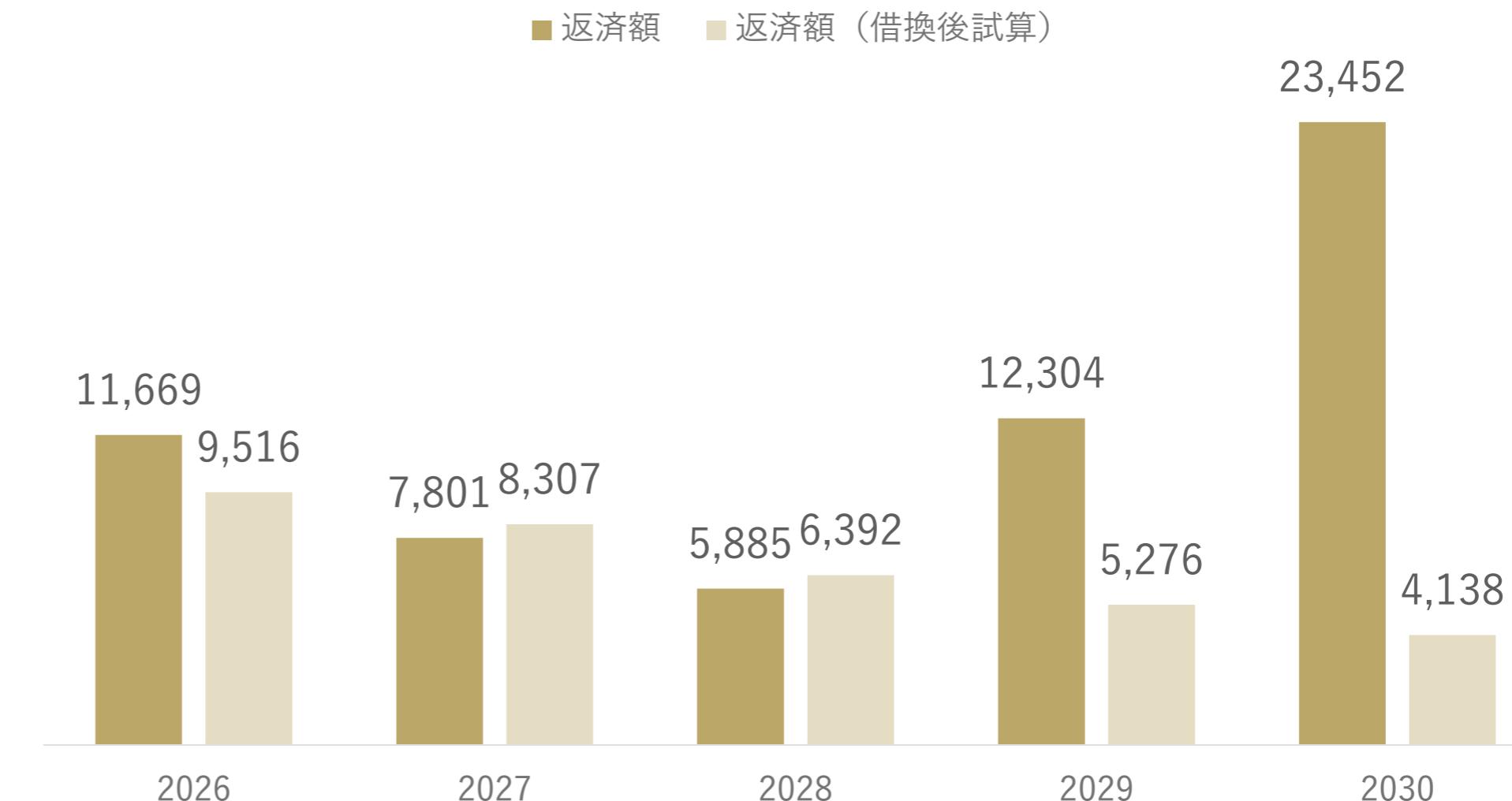
有利子負債残高（2025年期末）

77,722 百万円

EBITDA（2026年予想）

14,868 百万円

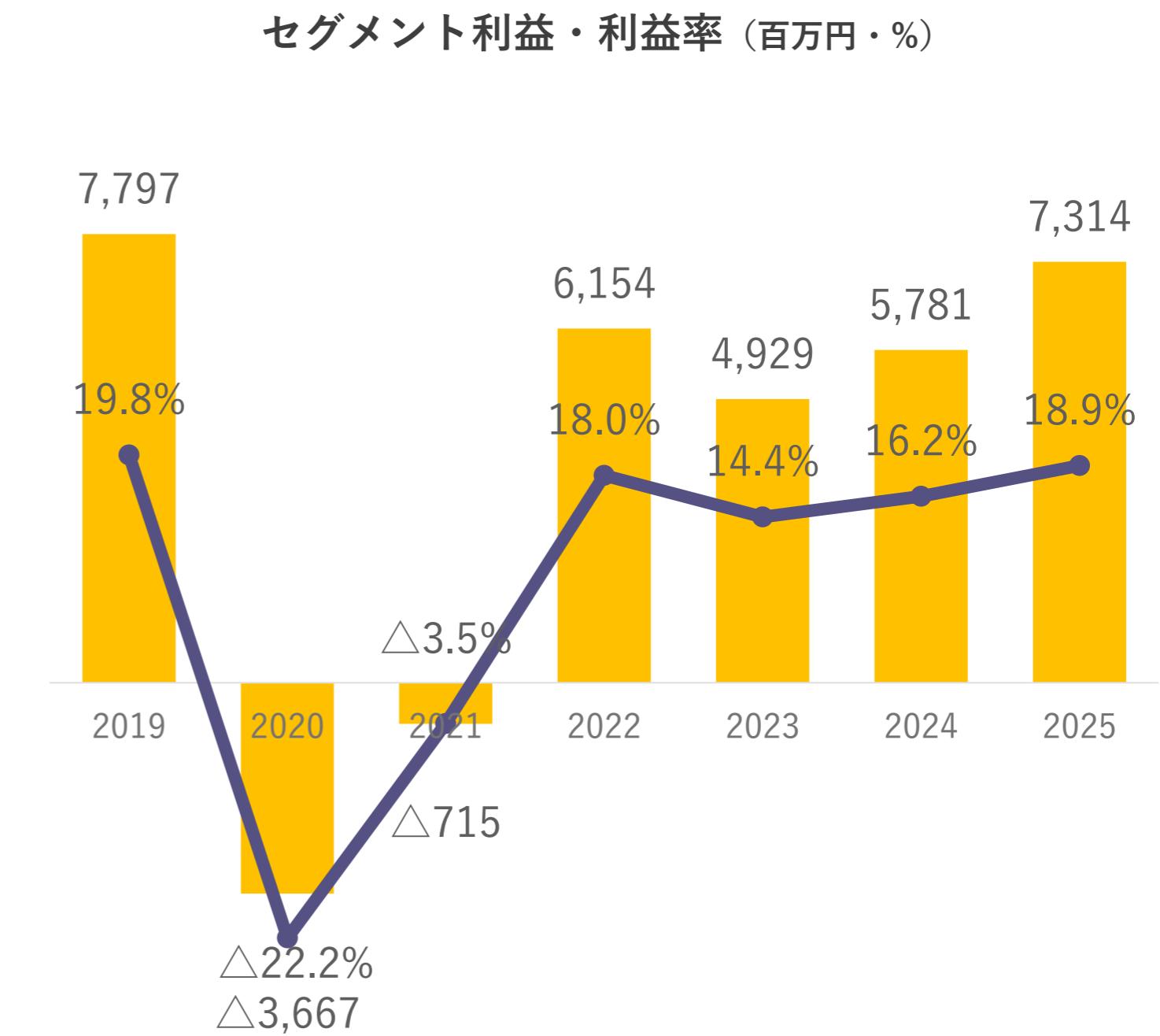
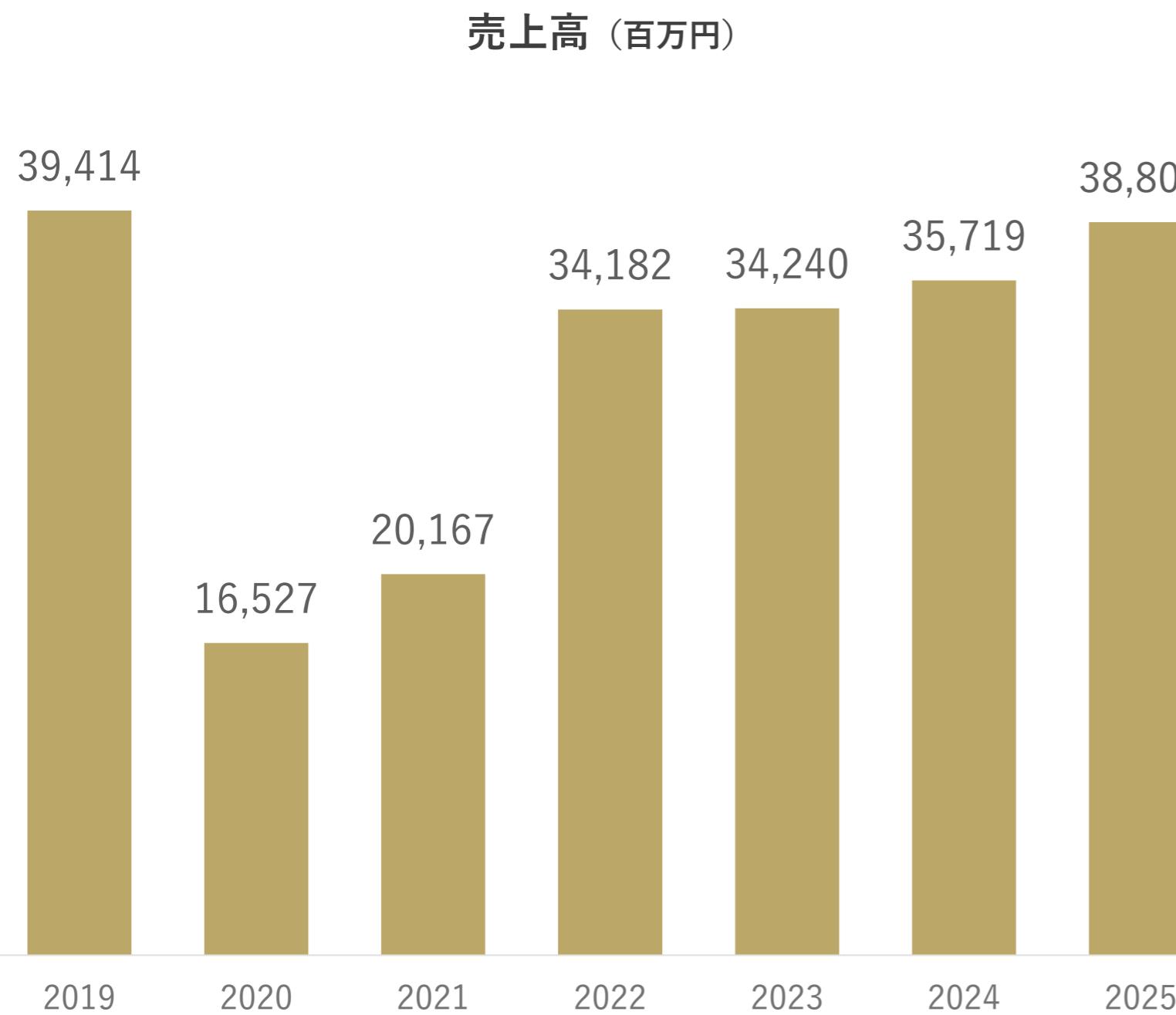
借入金・社債の返済スケジュール（返済ピッチに揃えて借換えた場合を試算・百万円）



02 セグメントハイライト

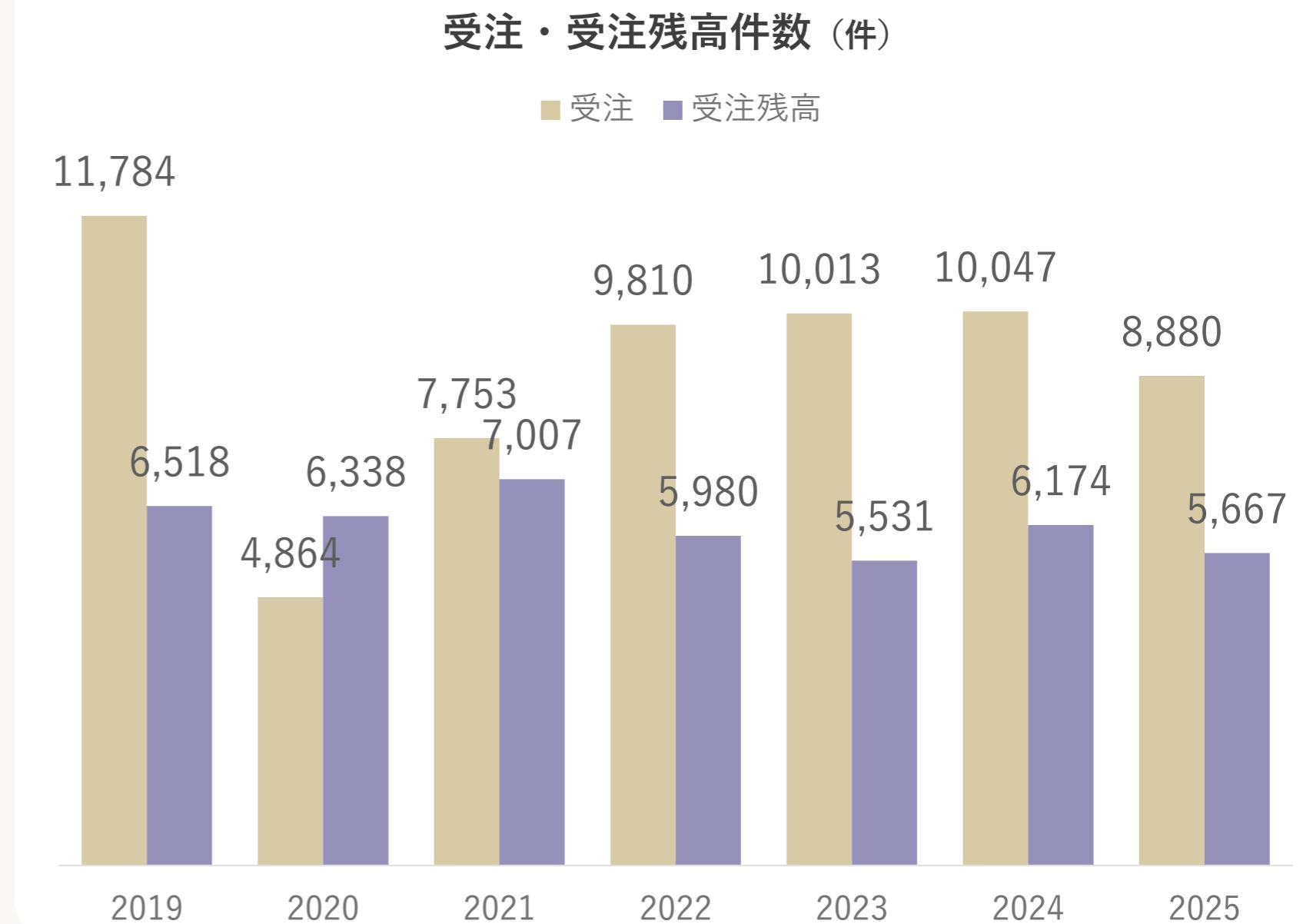
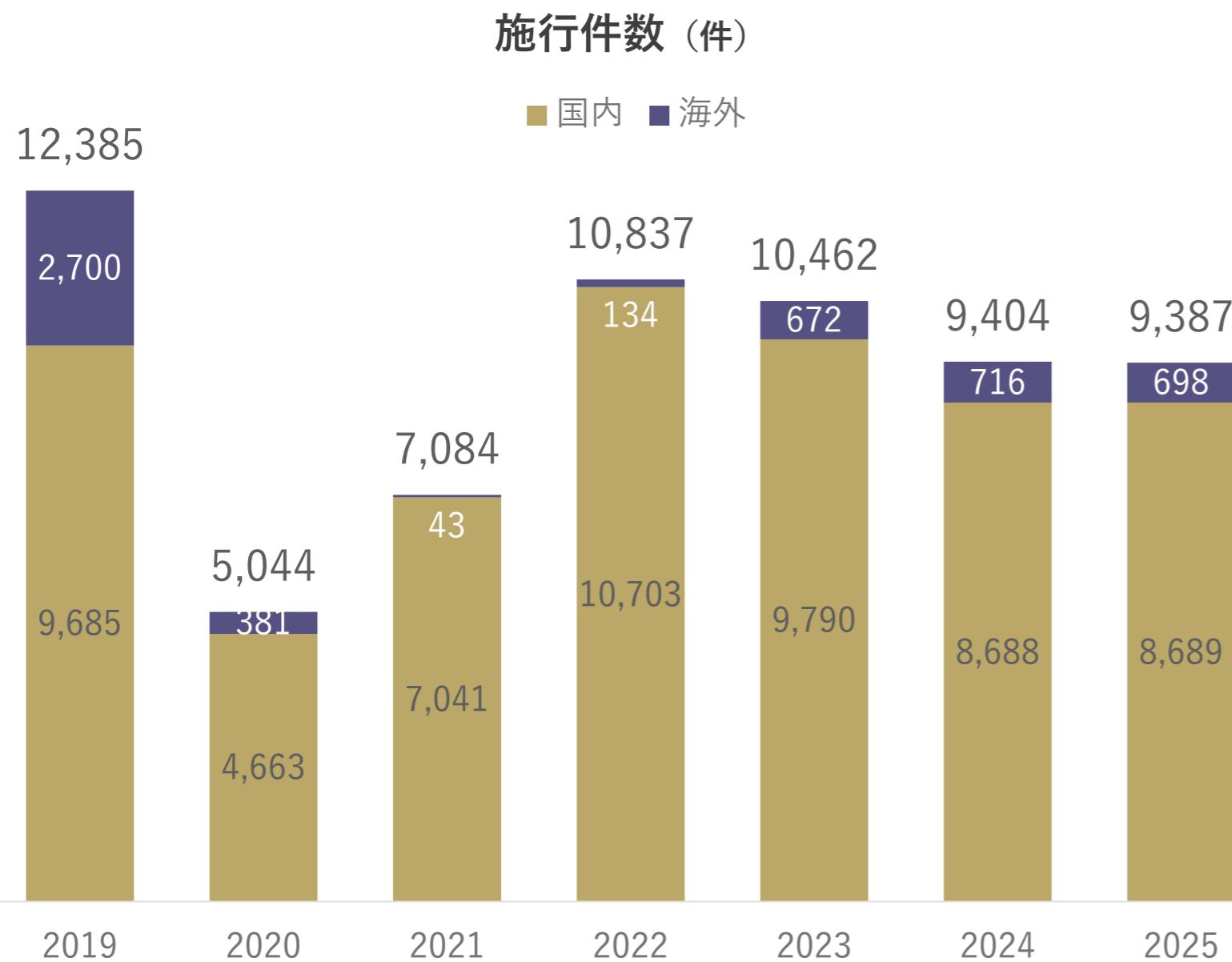
婚礼セグメント | ハイライト

婚礼セグメントは增收増益。単価上昇により利益率も18.9%へ上昇した。



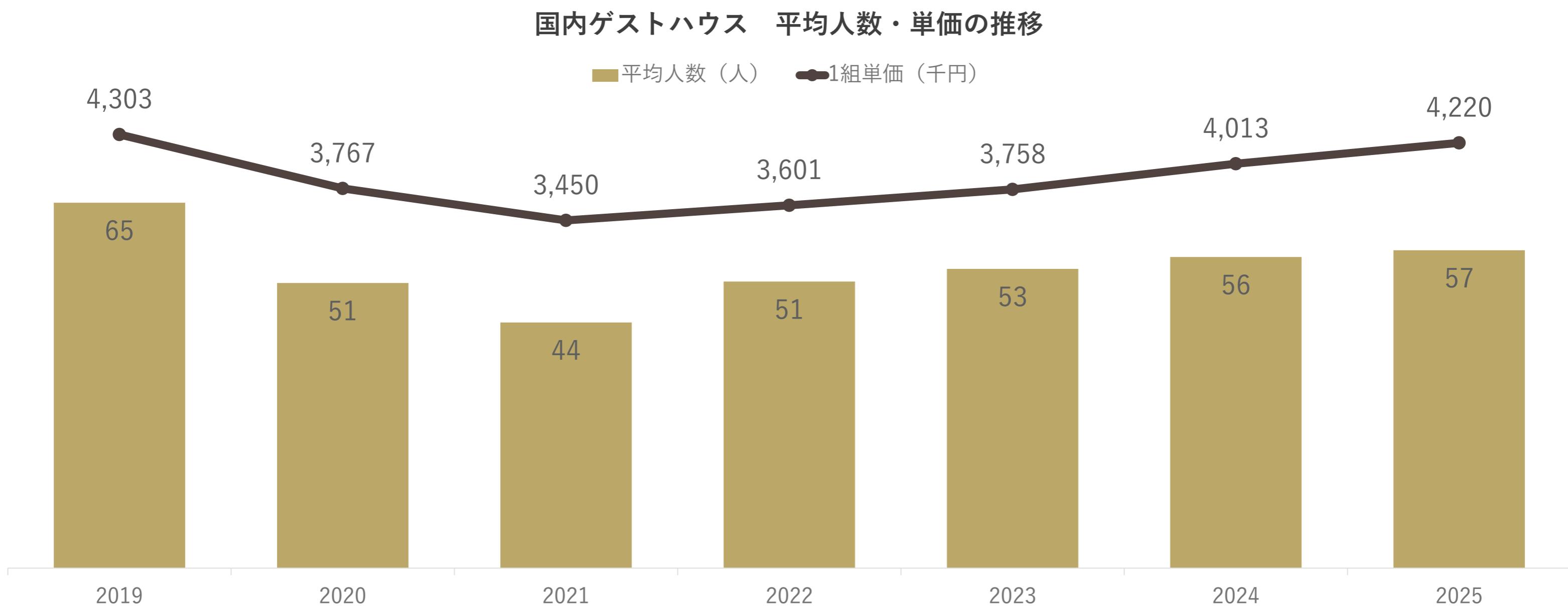
婚礼セグメント | 施行件数・受注件数の推移

今期の施行件数は前年並み、改装や閉店等により受注件数は減少したものの、当社は件数を最重要KPIとは位置付けず、値引きによる件数獲得を抑制し単価・収益性を向上。



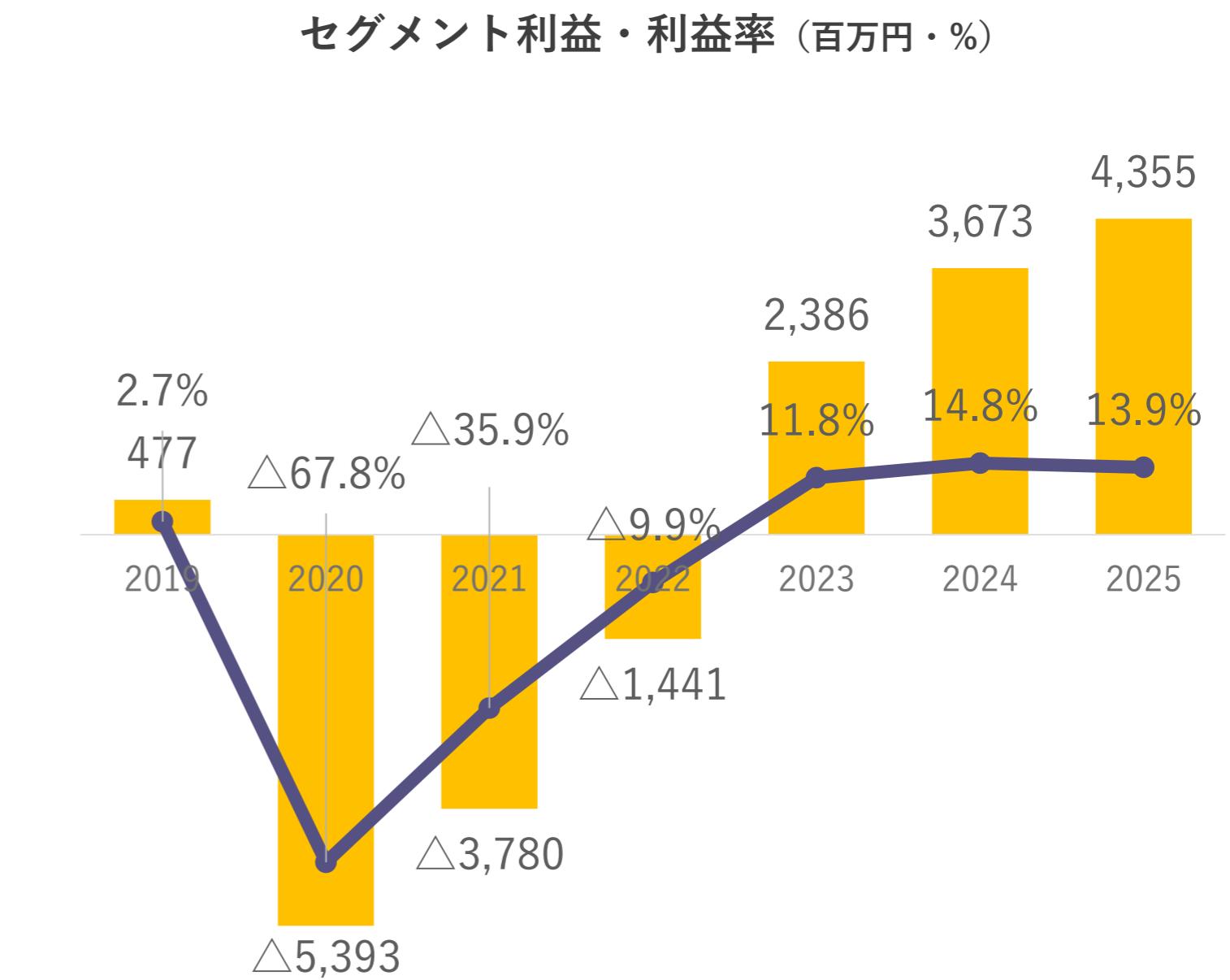
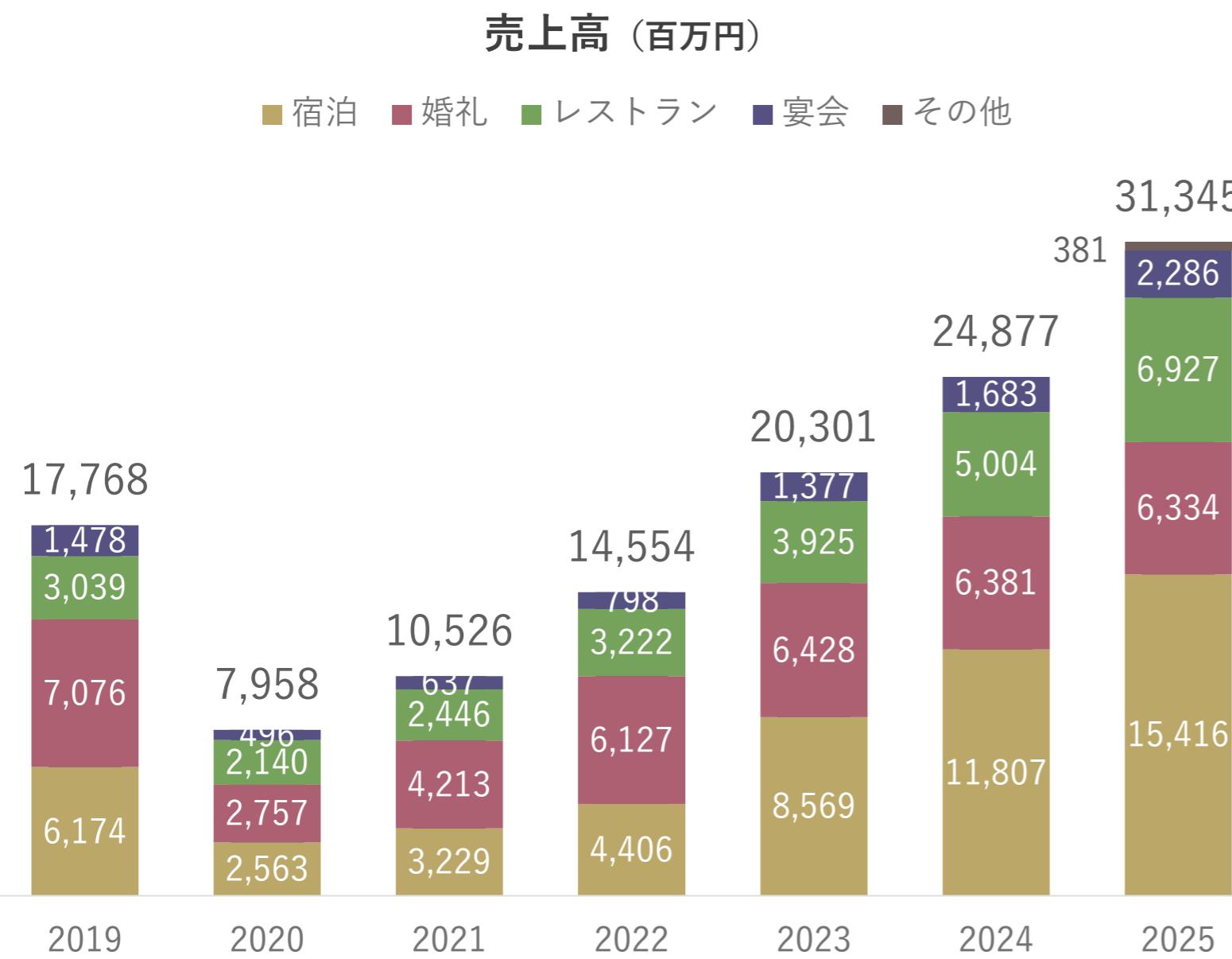
婚礼セグメント | 1組単価・平均人数

当社は件数ではなく価値を重視し、上質な顧客層の獲得に向けて施設・サービスのグレードアップを継続。今期は平均人数微増、単価5%上昇。価値向上が利益率改善に寄与。



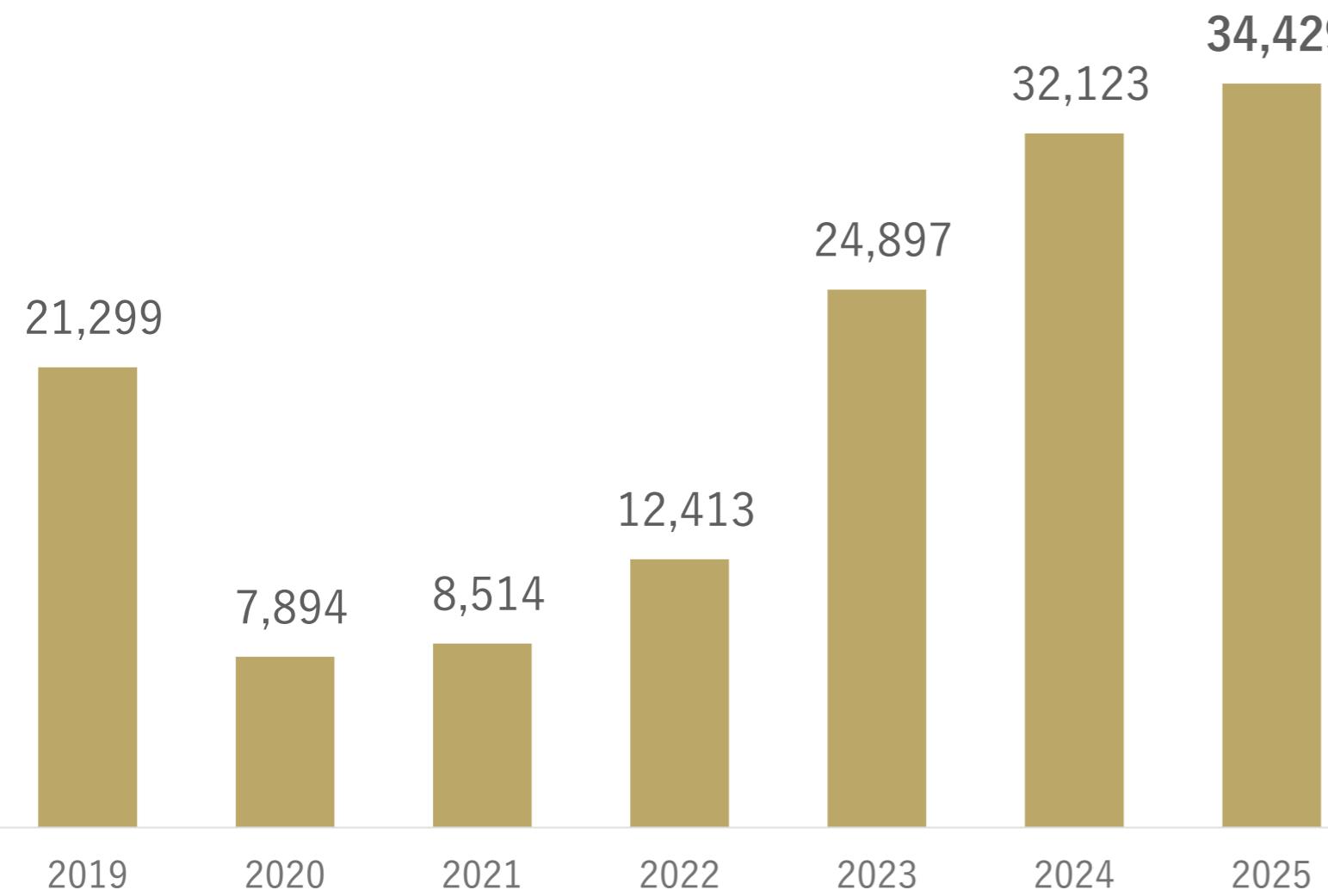
ホテルセグメント | ハイライト

ホテルセグメントは増収増益。2024年に取得したKaimana Beach Hotel及びKimpton Palladian Hotel並びに今年4月にオープンしたANAホリディ・イン東京ベイが貢献。

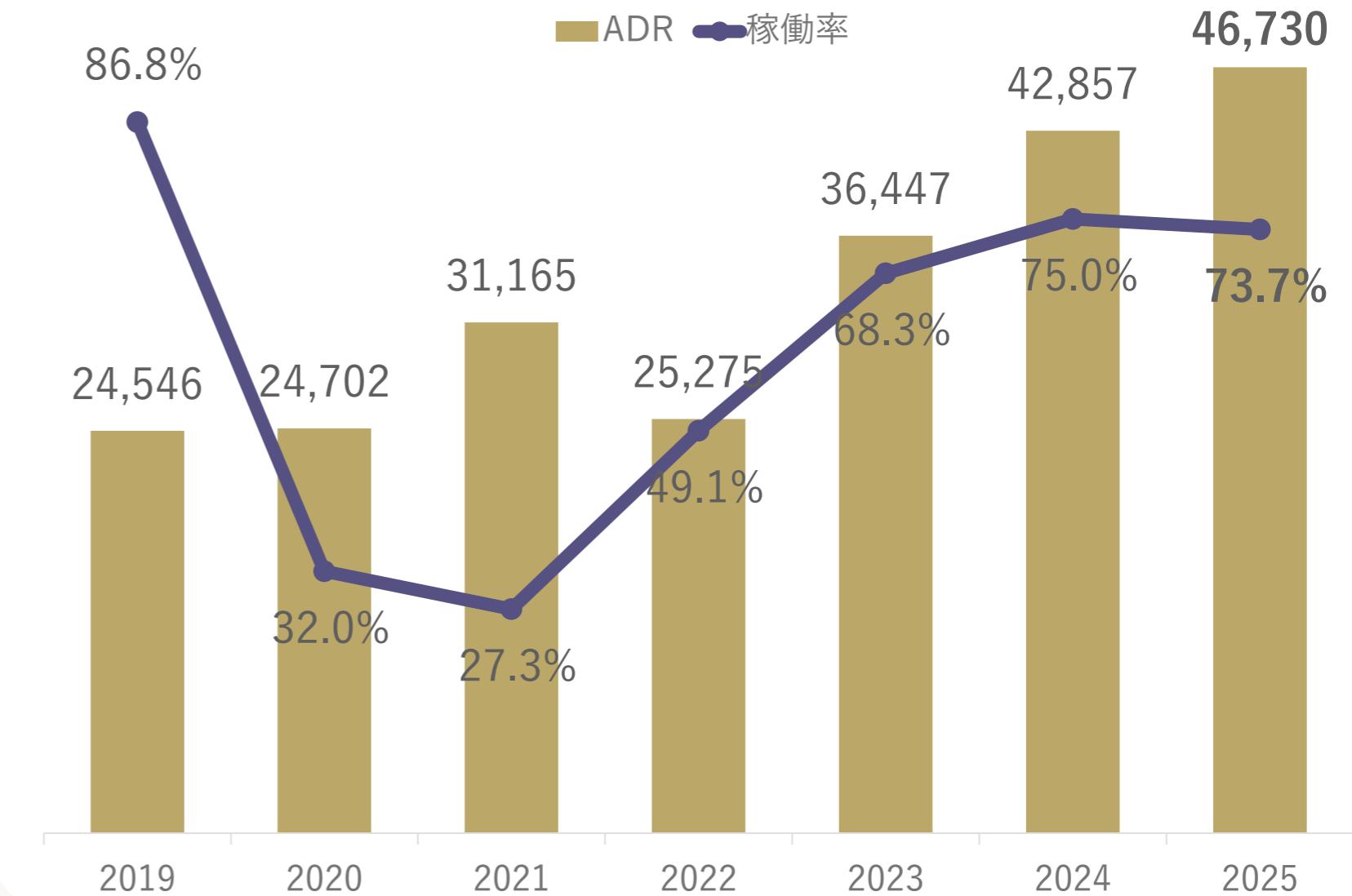


ホリディ・イン東京ベイを除く国内4ホテルのRevPARは、前年同期比7.2%上昇。
内訳では、ADRが9%上昇した一方で、外的要因の影響もあり稼働率は減少した。

RevPAR（販売可能な1室当たりの客室売上高）（円）



ADR（平均客室単価）・稼働率（円・%）



海外ホテル事業の拡大に伴い、運営品質と収益性の向上を目的に管理体制を強化。
当期の海外ホテルは3施設となり、通期のADRは272ドル、稼働率は70.6%となった。



Maxime J.B. HOTELIER

株式会社ベストホスピタリティーネットワーク 取締役社長
株式会社ベストグローバル 取締役社長
株式会社ベストライフスタイル 取締役社長

2021年よりキンプトン新宿東京の開業プロジェクトに参画。
2022年、同ホテルの総支配人（GM）に就任。
2025年9月、当社ホテル事業子会社の取締役社長に就任し、
国内外ホテルの運営・管理監督を担う。



Ha'aheo Zablan
Kaimana Beach Hotel



Brian Evola
Kimpton Palladian Hotel



John McAuliffe
W Hotel Dallas Victory

ADR（平均客室単価）・稼働率

ADR

\$ 272

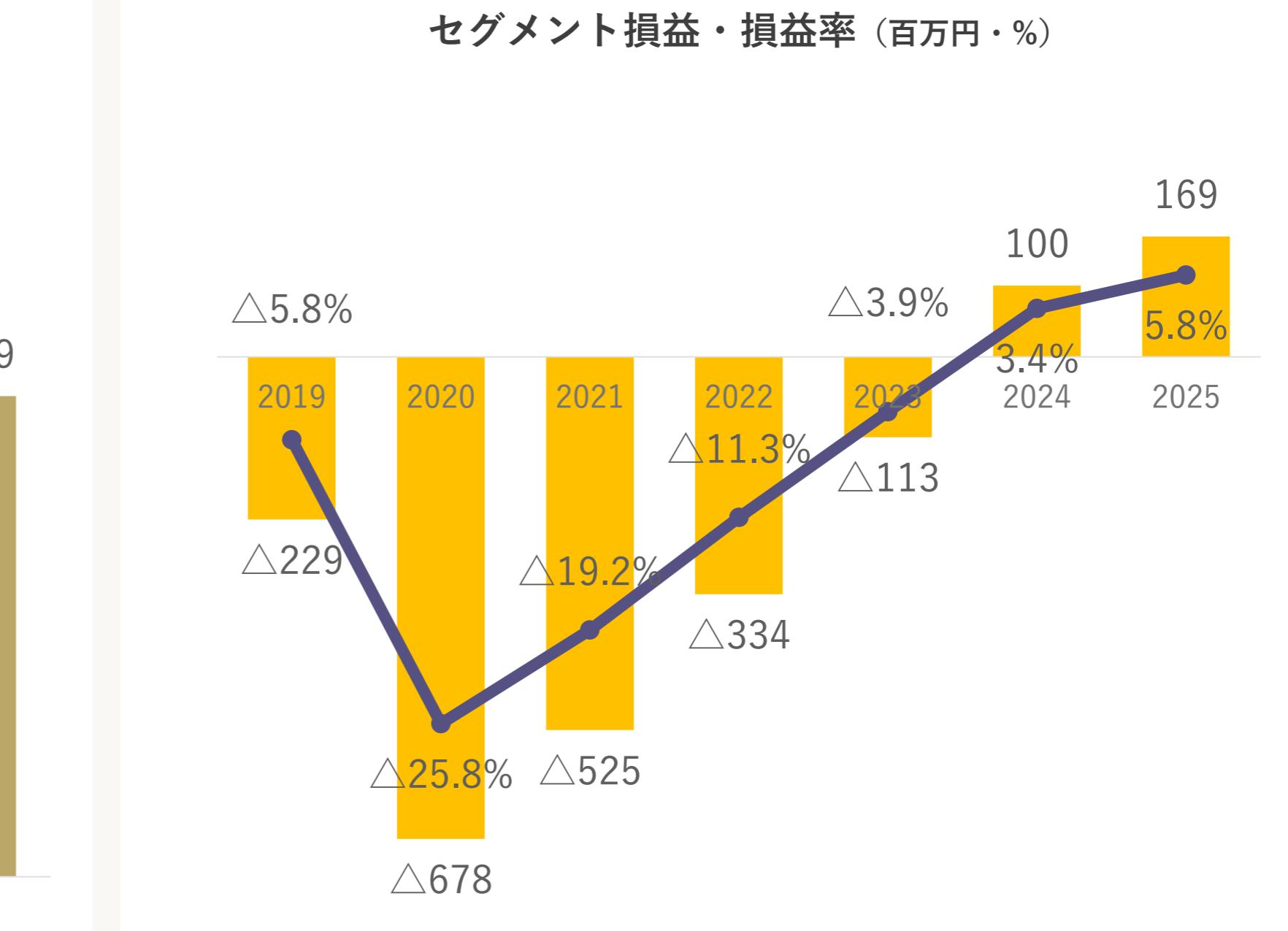
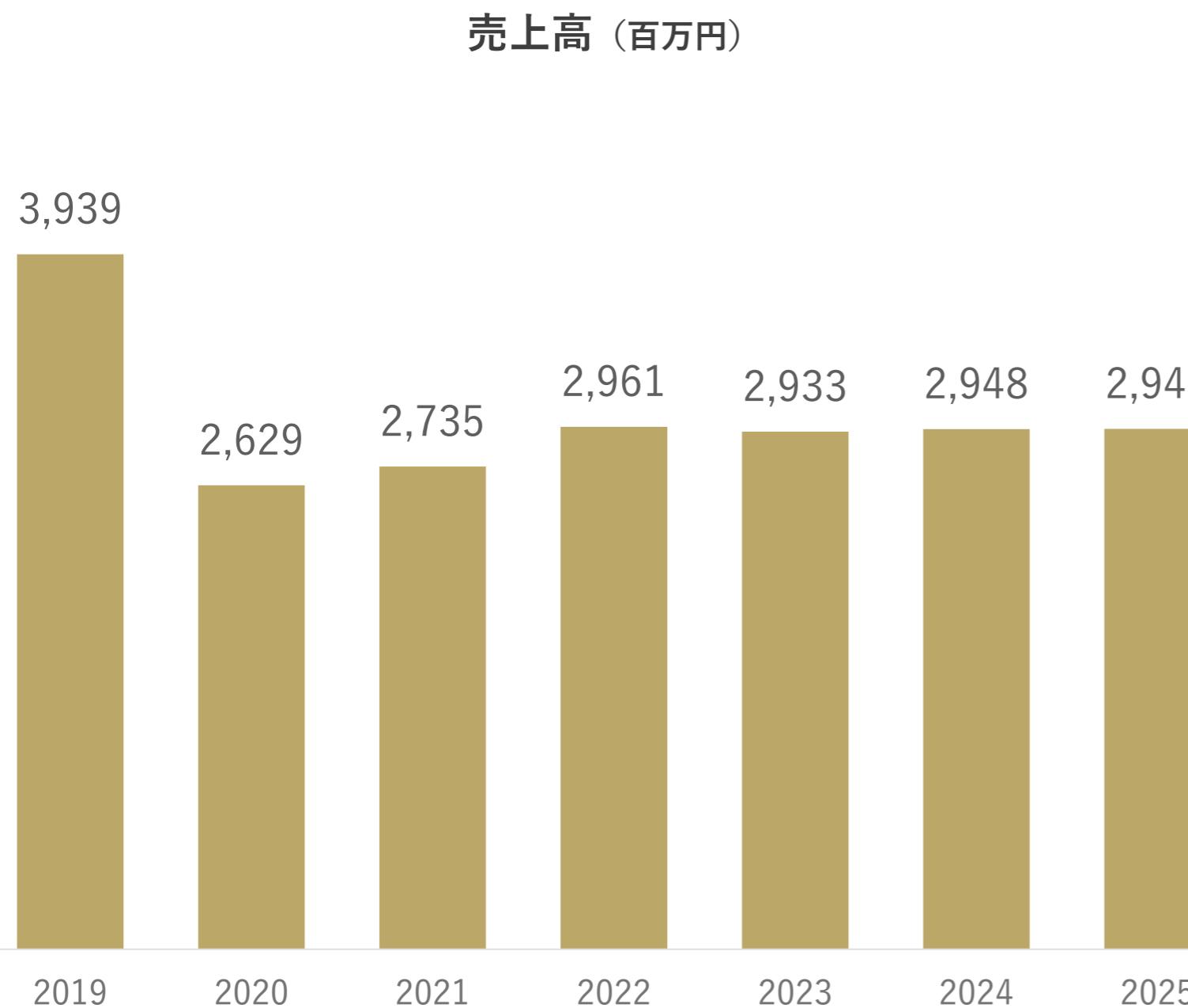
(÷¥42,626)

稼働率

70.6 %

W&Rセグメント | ハイライト

W&Rセグメントは、不採算店舗の閉店によりセグメント利益が黒字継続。



当社子会社BEST-HERBSが運営する温浴施設『SPA-HERBS』は、高い顧客満足度とサービス品質が評価され、ニフティ温泉ランキング全国総合1位を6年連続で獲得。



- 全国総合 第1位 (6連覇)
- 食事がおいしい部門 第1位 (3連覇)
- 東日本総合 第1位
- 関東エリア総合 第1位
- 埼玉県総合 第1位
- 埼玉県口コミ部門 第1位



03 參考資料

海外3つを含む8つのホテルを経営



ホテル インターコンチネンタル 東京ベイ

東京都港区 330室 6バンケット 1チャペル



ストリングスホテル東京インターチネンタル

東京都港区 203室 2バンケット 1チャペル



キンプトン 新宿東京

東京都新宿区 151室 3バンケット 1チャペル



ANA ホリディ・イン 東京ベイ

2025年4月オープン

東京都品川区 132室



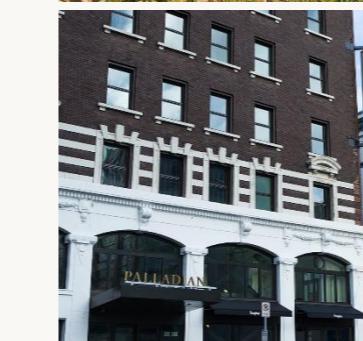
ストリングスホテル名古屋

愛知県名古屋市 126室 7バンケット 2チャペル



Kaimana Beach Hotel

米国ハワイ州 122室



Kimpton Palladian Hotel

米国ワシントン州 97室



W Hotel Dallas Victory

2025年5月取得

米国テキサス州 252室

ゲストハウス：直営店全国16店舗（53バンケット）

中日本

星ヶ丘 星ヶ丘迎賓館 アートグレイスクラブ(2)

東日本

仙台 仙台 アートグレイス フォレスト迎賓館(3)

大宮

アートグレイス ウエディングシャトー(4)
大宮璃宮(4)

新浦安

新浦安 アートグレイス ウエディングコースト 東京ベイ(5)

日本橋

東京 アフロディテ(1)
白金 白金迎賓館 アートグレイスクラブ(2)
青山 青山 セントグレース大聖堂(4)
市ヶ谷 アプローズスクエア 東京迎賓館(1)
赤坂 赤坂 アプローズスクエア迎賓館(1)
表参道 ザ ストリングス 表参道(5)

横浜

横浜 アートグレイス ポートサイドヴィラ(4)
伊勢山 伊勢山ヒルズ(7)

西日本

京都 アートグレイス ウエディングヒルズ(3)

大阪 アートグレイス ウエディングコースト 大阪(5)

心斎橋 心斎橋 セントグレース ヴィラ(2)



沖縄・ハワイ・バリ島でリゾートウェディングを展開

沖縄（1）

アートグレイス オーシャンフロントガーデンチャペル沖縄



ハワイ（2）

セント・カタリナ・シーサイドチャペル
プルメリアガーデン



バリ島（2）

ティルタ・ウルワツ
グラスハウス・バイ・ティルタ



W&R事業は、リラクゼーション31店舗、フィットネススタジオ3店舗、スパ温浴1店舗で構成

北海道

クイーンズウェイ 札幌APIA
クイーンズウェイ 東急百貨店さっぽろ店

埼玉

クイーンズウェイ 大宮そごうビル内専門店街
クイーンズウェイ 浦和コルソ
SPA-HERBS (大宮)
BEST STYLE FITNESS (大宮)

千葉

クイーンズウェイ シャポー市川
BEST STYLE FITNESS (新浦安)
BEST STYLE FITNESS (海浜幕張)

神奈川

クイーンズウェイ 横浜地下街ポルタ
クイーンズウェイ 川崎アゼリア
クイーンズウェイ ららテラス 武蔵小杉
クイーンズウェイ ラスカ小田原

東京

クイーンズウェイ ヤエチカ
クイーンズウェイ 麻布十番
クイーンズウェイ 新宿京王百貨店
クイーンズウェイ 池袋東武店
クイーンズウェイ 池袋西口地下街
クイーンズウェイ 立川
クイーンズウェイ アトレ吉祥寺
クイーンズウェイ 荻窪タウンセブン
クイーンズウェイ 北千住マルイ
クイーンズウェイ 丸ビル
GINZA BODY CARE 麻布十番
GINZA BODY CARE ヤエチカ
Queensway LUX 東京ミッドタウン八重洲

愛知

クイーンズウェイ 名古屋ユニモール
クイーンズウェイ 名古屋地下街サンロード

京都

クイーンズウェイ 高島屋京都店

大阪

クイーンズウェイ 大阪ディアモール
クイーンズウェイ 梅田阪急三番街
クイーンズウェイ 京阪モール
クイーンズウェイ 大阪空港
GINZA BODY CARE 大阪空港

福岡

クイーンズウェイ 福岡三越



フィットネススタジオ 3店舗



スパ温浴施設 1店舗



リラクゼーション施設 31店舗

TSUKADA GLOBAL HOLDINGS